

令和8年度 第1回嘉麻市文化財保護審議会議事録（要点筆記）

1. 審議会等の名称「令和8年度 第1回 嘉麻市文化財保護審議会」
2. 開催日時：令和8年7月10日（金） 14時00分～16時00分
3. 開催場所：嘉麻市役所 碓井総合庁舎 会議室4
4. 公開又は非公開の別：公開
5. 出席者
委 員：嶋田光一（会長）、長谷川清之（副会長）、小林知美、佐々木隆良、竹川克幸、
辻田淳一郎、氷室崇元、青山英子
執行機関：生涯学習課長：松浦宇哲、課長補佐：矢野義博、文化推進係長：塚本明弘
文化推進係：尾方禎莉、伊藤みどり
6. 傍聴人数：0人
7. 次第
開会のことば
(1) 委嘱書交付
(2) 教育委員会あいさつ
(3) 正副会長選出、会長あいさつ
(4) 議事・報告
①令和7年度事業教育委員会点検・評価について（資料1）
②嘉麻市文化財まちづくり推進団体について（資料2，資料3）
③その他
(5) 事務連絡等
閉会のことば

【 会 議 録 】

- (1) 委嘱書交付
全委員の委嘱書を交付
- (2) 教育委員会あいさつ
松浦課長（教育長代理）によるあいさつ
- (3) 正副会長選出、会長あいさつ
委員による互選、事務局から会長に嶋田委員、副会長に長谷川委員を提案し、異議なく承認
嶋田会長によるあいさつ
- (4) 議事・報告
①令和7年度事業教育委員会点検・評価について
（事務局）
第6次教育アクションプランに基づく事業評価のうち、「郷土の歴史文化を守る事業」、「郷土の歴史文化を伝える事業」、「郷土の歴史文化拠点施設活用事業」の3事業について報告を行った。

(審議会)

- ・大学との共同調査や地域資料調査を継続し、成果を保存・活用へつなげてほしい。

事務局回答：嘉麻市は財政状況が非常に悪いが、できる限り予算確保に努め、大学との共同調査等を継続し、保存・活用へつなげていきたいと考える。

- ・地域住民や関係団体と連携した文化財保護が重要

事務局回答：今後も大学・地域団体・関係機関と連携しながら事業を推進していきたいと考える。

②嘉麻市文化財まちづくり推進団体について

(事務局)

令和8年5月11日付けで、宮野地区の「美しこの郷みやの」(団体名)から、「文化財まちづくり推進団体」認定申請がなされたため、「嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定規程」第4条第1項の規定に基づき、当団体を嘉麻市文化財まちづくり推進団体として認定してよいか、審議をお願いする。

次に、令和8年7月2日付けで、山野地区の「福岡県指定無形民俗文化財「山野の楽」保存会」(団体名)から、「文化財まちづくり推進団体」認定申請がなされたため、「嘉麻市文化財まちづくり推進団体認定規程」第4条第1項の規定に基づき、当団体を嘉麻市文化財まちづくり推進団体として認定してよいか、審議をお願いする。

(審議会)

- ・今回の文化財まちづくり推進団体認定制度を活用し、指定文化財を核とした地域づくりの取組として期待できる非常によい制度であると思う。
- ・看板整備や除草等の維持管理だけでなく、地域住民への周知や活用事業にも補助制度を活用しながら継続的な活動を期待する。
- ・認定後の補助金制度や看板整備の考え方はどのようなものか。

事務局回答：管理活用計画に応じ補助金を交付し、看板等については地域主体で作成し教育委員会が必要な助言を行う制度である。

審議結果：「美しこの郷みやの」、「福岡県指定無形民俗文化財「山野の楽」保存会」を嘉麻市文化財まちづくり推進団体に認定することは適切と認める。

③その他

(事務局)

市指定天然記念物「千手小学校のケヤキ」の主幹(枝)の一部が折れる被害があり、令和4・5年頃にも被害が確認され、100万円程度の治療を行ったが、今回は数百万円程度が必要かつイエシロアリが確認されたため、地元区長等への説明を行い、今後のスケジュールとしては、次回の審議会において市指定の解除の提案を行う予定である旨、口頭での報告を行った。

(5) 事務連絡等

昭和100年、嘉麻市市政20周年記念事業として、嘉麻市立織田廣喜美術館において企画展「あゝ昭和ノスタルジー」を8/21から9/23に開催することを伝えた。

委員からの連絡事項等は無し。

上記に相違ないことを確認する。

令和8年7月27日

会議録確認者：会長 嶋 田 光 一